ライフサポートアサヅマ
あさぽ

地域の、いつもの暮らしのそばに。

PRESS RELEASE
報道関係者各位　2026.10.08

「まだ介護じゃない。でも、誰かの手が必要」

札幌で創業 98 年、米を届けてきたアサヅマが「暮らしの困りごと」支援へ

「宝石米（ほうせきまい）」のアサヅマが設立を支援した NPO 法人が生活支援「あさぽ」を本格始動
10 月 17 日（土）、地域との接点づくりとして「秋の収穫祭」を開催

昭和 3 年創業の株式会社アサヅマが設立を支援した NPO 法人ライフサポートアサヅマは、日常生活の「ちょっと困った」を支える生活支援サービス「あさぽ」を本格始動します。きっかけは、長年のお米の配達で耳にしてきたお客様の声でした。**「重たいので米櫃に移し替えてほしい」「電球を交換してほしい」「スマホの設定がわからず、画面が真っ暗」**——介護サービスを利用するほどではない。でも、一人では少し困る。そんな「制度と暮らしのすき間」にある困りごとを、顔なじみの企業だからこそ支えられるのではないか。

WHY NOW　札幌では「高齢者のひとり暮らし」が増えている

札幌市の推計では、65 歳以上の人 1 人のみで暮らす「高齢単身世帯」は、2020 年の **121,789 世帯**から 2025 年には **142,500 世帯**へ増える見通しです。一般世帯に占める割合も **12.6%**から **14.5%**へ上昇。さらに 2040 年には **181,400 世帯（18.7%）**に達する見込みです。当法人は、身近な生活支援の必要性が今後さらに高まると考えています。

札幌市の高齢単身世帯数



出典：札幌市まちづくり政策局政策企画部企画課「札幌市の世帯数の将来推計（令和 5 年推計）」（65 歳以上世帯員の単独世帯。2020 年は国勢調査確定値、2025 年・2040 年は推計値）。割合は一般世帯数に占める比率。2040 年の割合は「札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（2024）」による。
https://www.city.sapporo.jp/toukei/jinko/shourai-suikei.html

01
制度と暮らしのすき間
電球交換、家具移動、草むしり、片付けなど、日常の「ちょっと困った」を支援。

02
離れて暮らす家族
仕事・子育て・距離などで、親のもとへ頻繁に行けない家族の安心にもつなげます。

03
元気なうちから地域とつながる
困ってからではなく、元気なうちから顔の見える関係をつくることを目指します。

SERVICE　生活支援「あさぽ」でできること

あさぽは「便利屋」ではなく、高齢者が介護になる前の暮らしを支える生活支援です。

電球の交換	荷物の移動・模様替え	スマホ・テレビの設定	カーテンの付け外し	庭のお手入れ
高いところの作業もおまかせ	重たい荷物の移動・整理など	使い方のご相談も	季節の模様替えも	草むしり・除雪など

料金	**30 分 3,000 円（税込）**　30 分単位で加算
お得な回数券	**お手伝いチケット 11 枚つづり 10,000 円（税込）**　1 枚＝10 分／通常 11,000 円分のところ 1,000 円お得
諸費用	**交通費・出張料は無料**　材料費は別途
利用方法	電話または申込フォーム（右の QR コード）でお問い合わせ・お申し込み 電話 011-511-2411（平日 9:00〜17:00）
対象エリア	**札幌市内全域**
お受けできないこと	医療・介護行為、専門資格が必要な作業、危険を伴う作業など

申込フォーム

なぜ「米屋」が暮らしを支えるのか

昭和３年創業のアサヅマは、お米のブランド「宝石米」の販売をはじめ、お米を通じて地域の食卓と関わってきました。その接点を暮らし全体の安心へ広げるために設立を支援したのが、NPO 法人ライフサポートアサヅマです。「あさぽ」は、単に作業を代行するだけでなく、**支援が必要になる前から地域とつながり、本人と家族の安心につなげること**を目指します。

なぜ NPO 法人なのか　会社組織では、人材の確保や配送中のサービス提供が現実的に難しく、地域の皆様や行政との連携・サポートが必要になるため、NPO 法人の設立にしました。

米屋だからできること

毎月のお米の配達で、定期的に訪問

お客様の年齢に伴う暮らしの変化や、離れて暮らすご家族のサポートだけでは不便という声を、長年伺ってきました。顔馴染みのスタッフだから安心してお願いでき、ご本人の同意のもと、ご家族とも情報共有ができる関係性が、すでにできています。

たとえば、お米の代金を払うためにお財布を取りに行ったまま、いつまで待っても戻ってこない。声をかけると、取りに行ったことを忘れてテレビを見ていた。定期的に訪問しているからこそ気づける変化があります。

数字で見るあさぽ

お試し期間のご依頼　2025 年 10 月~2026 年 8 月

約 80 件

有料のお試し期間。多かった依頼は

① 草むしり　② 換気扇の掃除　③ 電球交換

昭和３年　アサヅマ創業

初年度の目標

会員 400 名　年間利用 120 件

CASE　ライフサポート事例｜7 月 27 日・清田区

これまでお庭や畑のお手入れを担ってこられた息子様が、最近はお忙しく、なかなか作業に来ることができなくなっているというお話を伺いました。そこで、ライフサポートアサヅマでお手伝いできることをご案内し、**庭の草刈りや畑のお手入れ**をご提案。ご依頼をいただき、７月 27 日に作業を実施しました。

ご利用者様の声（清田区・M 様）

「息子に言っても忙しくてなかなか来られないので、アサヅマさんに頼んで良かったです。草刈りやお手入れも楽しそうにやってくれて、お願いして良かった。午前中はデイサービスなので、また午後どこかで寄ってください。コーヒー出しますね。」

ご家族がこれまで担っていた日常生活のお手伝いも、仕事や家庭の事情などで続けることが難しくなる場合があります。そんな時にご家族に代わって、地域の中で暮らしの「ちょっと困った」をお手伝いし、**「家族に頼みたいけれど、忙しそうで頼みづらい」**という小さなお困りごとにも寄り添っていきます。

KICKOFF　“お米の会社”らしく、説明会ではなく「秋の収穫祭」から

“食”をきっかけに地域の人が集い、楽しみながら「あさぽ」とつながる場として、新事業を「収穫祭」でお披露目します。当日は、**「あさぽ」の相談・会員募集**のほか、お米のつかみ取り、終活相談、カイロプラクティック体験、回数券販売、キッチンカーなどを予定しています。

EVENT INFO｜秋の収穫祭

2026 年 10 月 17 日（土）
10:00~16:00

アサヅマ本社ビル 駐車場
札幌市中央区南７条西６丁目 1033

主催：NPO 法人ライフサポートアサヅマ

MEDIA POINTS｜取材の切り口

- 増える高齢単身世帯と「まだ介護ではない」暮らしの困りごと
- 「宝石米」のアサヅマが、なぜ生活支援へ乗り出すのか
- 米を届けて 98 年。次の 100 年に向けて何を届けるのか
- 離れて暮らす親を、家族と地域でどう支えるか
- 地域企業が「食」から「暮らし」へ役割を広げる新たな挑戦

取材のご案内

実際のあさぽ生活支援の様子を、別日に撮影できます
代表者へのインタビューが可能です

取材・お問い合わせ　NPO 法人ライフサポートアサヅマ｜広報 沼村 詩｜TEL 011-511-2411
E-mail：asapo.gogo@gmail.com